

静岡県富士市 駅南地区・地区防災計画



駅南地区

JR東海道線

東海道新幹線

田子浦港

富士川

駿河湾

富士駅南地区まちづくり協議会
防災部会

富士市のコミュニティ体制

富士市

地区

地区とは、小学校区に相当します。
市内には、駅南地区のほか25地区あり。

区

区とは、町内会(自治会)に相当するものです。
駅南地区には、9区あり、それぞれに自主防災会
が組織されています。
市内には、386区あり。

地区を支える各団体(駅南地区には36団体あり)

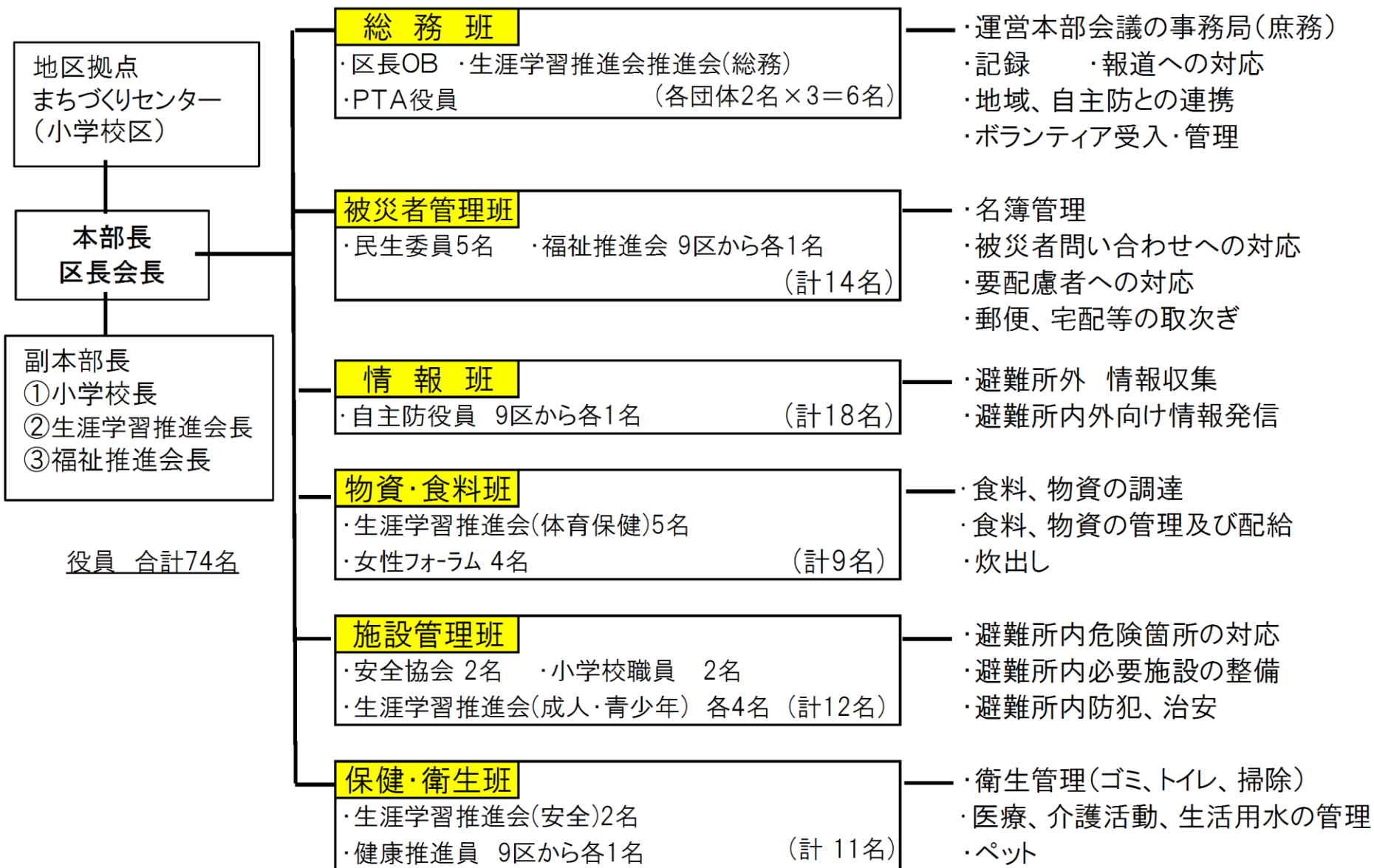
駅南地区まちづくり協議会

駅南地区の防災活動の経過

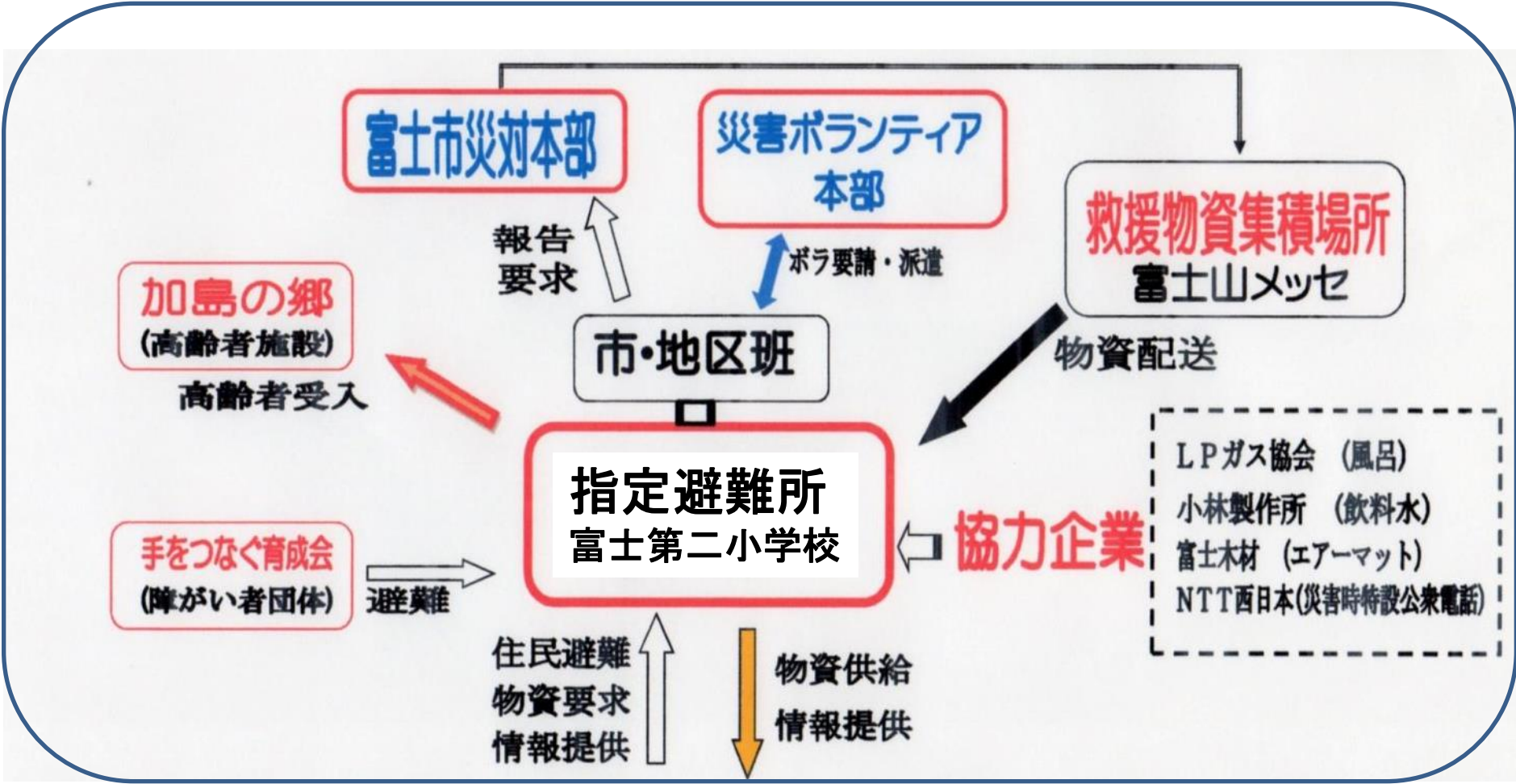
- 2007年(平成19年)まちづくり協議会に『防災部会』を組織
 - 災害発生時の避難所生活は混乱が予想されるので、テーマを「避難所運営」とし1年かけマニュアルを作成
- 2008年(平成20年)避難所運営訓練初開催
 - 作成したマニュアルの検証を行うため、毎年開催している
- 2012年(平成24年)駅南地区防災会議初開催
 - 自主防災会や各団体のつながりを深めることがねらい
- 2013年(平成25年)静岡県総合防災訓練会場に指定
 - これをきっかけに、避難所運営訓練と同時刻に、各區別々の場所で防災訓練を行うようになった
- 2014年(平成26年)地区防災計画モデル地区に選定され、計画作成のためのチームを編成

駅南地区・避難所 構成図

避難所開設時には、下記のスタッフにて立ち上げ、順次避難者の中から役員を選出し運営を移行する。



避難所運営組織体制



- 四丁河原南
- 水戸島南町
- 水戸上南
- 水戸島中
- 水戸島下
- 上横割
- 十兵衛南
- 下横割北
- 下横割南

9区の自主防災会

避難所運営訓練の様子

① 避難所の受付は区ごと



② 避難所本部会議の様子



③ 無線による被害状況収集



④ 災害時特設電話体験



⑤ 間仕切り体験



地図への落とし込み



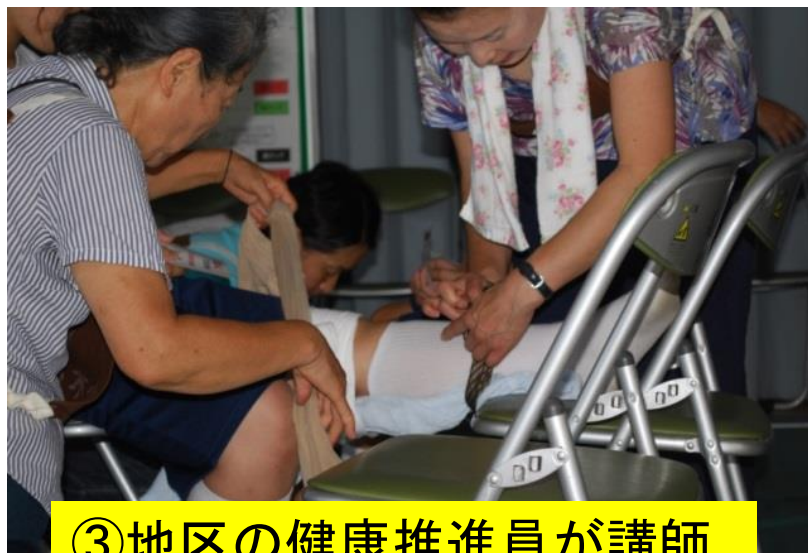
避難所運営訓練の様子



①地元企業と飲料水協定
訓練時に企業から搬送



②炊き出しの訓練



③地区の健康推進員が講師
を勤め、応急手当て訓練



④物資を分配供給する
災害ボランティア・バイク隊

別会場での自主防災会訓練



中学生が活躍！



初期消火



救出・救護



地区防災計画のねらい

1. これまでの防災活動を地区に継承していくため、組織や任期などを計画にまとめる
2. 大規模地震にどう対応するか、平常時の減災対策と、災害時の応急対応を分けたうえで、概要を本計画にまとめる
 - 地区内の自主防災会のつながりを強化
 - 自主防災会マニュアルを全ての自主防災会で作成
 - 避難所運営マニュアルを計画に位置づけ
3. 地域を支える団体の通常の活動が、結果的に防災活動に結びつくことを知り、新たな減災活動へつながることを期待

地区防災計画の構成

1. 地区の特徴と想定被害
2. 防災活動の流れ(予防対策と災害対応の違い)
3. 地区を支える団体の活動
 - ・団体の活動
 - ・平常時の防災活動
 - ・避難所運営での活動
 - ・その他防災活動
4. 防災まちづくりの構成
 - ・組織の位置づけ
 - ・年度計画の作成
5. 避難所運営
 - ・年度ごと訓練目的の設定
 - ・マニュアルの改訂
6. 自主防災会
 - ・自主防災会のマニュアル作成と更新
7. 地区として行う防災活動
 - ①学校との連携
 - ②地区を支える団体の平常時の防災活動
 - ③防災教育、研修会の開催
8. 企業・団体との連携推進

ご清聴ありがとうございました。

おわり